

[吉敷ふれあい福岡 2024] 声かけが ふれあう一歩 笑顔の和



令和 6 年 山口市二十歳のつどい



CONTENTS

インフォメーション 2

鴻南地域包括支援センターからの
お知らせ 3

みんなで防災 3

【トピックス①】
にぎやかに
「良城クラブまつり」開催 4

読者発なんでも広場 5

今月の吉敷人 5

レポート 6

吉敷の福祉・健康 7

リレーエッセイ 7

イベントカレンダー 8

かけはし 8
よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】 14,684 (前月比 +22) 【世帯数】 6,450 (前月比 +8)

令和6年1月1日現在



トキメカノ

すき！をさがそう
えをかこう！

画用紙を好きな形に切って、折つたり、貼つたり、絵を描いたり。自分の「すき！」を探して、みんなで絵を描こう！

とき 2月17日(土) 10時～12時

場所 地域交流センター 講座室

対象 小学1～3年生 30名（先着順）

講師 佐々木範子氏（画家）

準備 自由に絵を描くために使いたいもの（はさみ、のり、筆記用具、絵具、色鉛筆、好きなものの絵や写真、等）

申込・問い合わせ 地域づくり協議会
☎ 083-922-3344

吉敷ペタンク交流大会

ペタンクをしながら交流しません

か？ペタンクは木製のピュット（目標球）に金属製のボールを投げ合いで点数を競う競技です。

初心者でも「気軽に」「みんなで」楽しめますよ。

とき 3月3日(日) 8時30分集合（雨天中止）

場所 ちよるる広場

定員 60名（先着順）

申込締切 2月20日(火)

主催 地区社会福祉協議会・良城クラブ

申込 地区社会福祉協議会
☎ 083-922-3344

第4回吉敷の近未来を想像し語る会を開催します

「赤田神社に若者が集まるのはなぜ」と題して赤田神社のお祭りイベントについて、宮司や自ら参加している方の話を聞き、地域住民の交流を図ります。みなさまも参加できますので、お気軽にご参加ください。

とき 3月9日(土) 15時～17時

場所 地域交流センター 講堂（1階）

対象 地域づくり関係団体・地域在住の方 8名（先着順）

申込・問い合わせ 地域づくり協議会
☎ 083-922-3344

世界と話そう

アマチュア無線!!

アマチュア無線を題材に、第2回 YOSHI-Kーラッピングミュージアムを開催します。詳細は回覧チラシをご覧ください。

初心者でも「気軽に」「みんなで」楽しめますよ。

とき 3月10日(日)
午前の部：10時～12時（小学生対象）
午後の部：13時30分～15時30分（中学以上対象）

場所 悠々苑（天神池広場）・玄済寺駐車場

募集内容

①マルシェエリア：素人さんの趣味、手芸の出店（販売）

②飲食エリア：吉敷の飲食事業者・商工振興会など地域の方々による出店

③ステージエリア：吉敷の伝統芸能や演舞など、様々な芸事の披露

④体験エリア：竹細工や手芸など、老若男女問わず楽しめる体験型のイベント

まずはお気軽にお問合せください

問い合わせ 担当：課□（シユグチ）
☎ 080-9799-1608

「どもアメーティアを考えよう
ーわかる、ねる、たべるー

「どもの健やかな育ちを守っていく中でメティアとの関わり方と一緒に考えてみませんか。

とき 3月13日(水) 10時～11時

場所 地域交流センター 講堂

講師 NPO法人こどもステーション山口事務局長福山枝里氏

対象 未就学児の保護者10名（先着順）

託児 有（要申込）

共催 つどいの広場楽楽案・母子保健推進協議会

申込・問い合わせ 地域づくり協議会
☎ 083-922-3915

応募資格（要約）

・社会教育、生涯学習に寄与する団体で、地域に公開性、公共性がある活動を行う団体である」と。(企業活動、塾、お稽古教室などは利用不可)

・団体会員数が5人以上で、かつ3分の2以上が吉敷在住である」と。

・賞利目的の活動ではない」と。(企業活動、塾、お稽古教室などは利用不可)

・地域で開催される行事に積極的に協力できる」と。

申込書類 地域交流センターに設置

申込方法 所定の申込書に記入し、団体の構成員名簿等を添付のうえ、地域交流センターへ提出してください。

申込期間

とき 4月28日(日) 10時～15時

場所 悠々苑（天神池広場）・玄済寺駐車場

募集内容

①マルシェエリア：素人さんの趣味、手芸の出店（販売）

②飲食エリア：吉敷の飲食事業者・商工振興会など地域の方々による出店

③ステージエリア：吉敷の伝統芸能や演舞など、様々な芸事の披露

④体験エリア：竹細工や手芸など、老若男女問わず楽しめる体験型のイベント

まずはお気軽にお問合せください

問い合わせ 担当：課□（シユグチ）
☎ 083-922-3915

定期利用団体募集
地域交流センター

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間を通して、地域交流センターを定期的に利用される団体を募集します。

「どもの健やかな育ちを守っていく中でメティアとの関わり方と一緒に考えてみませんか。

とき 3月13日(水) 10時～11時

場所 地域交流センター 講堂

講師 NPO法人こどもステーション山口事務局長福山枝里氏

対象 未就学児の保護者10名（先着順）

託児 有（要申込）

共催 つどいの広場楽楽案・母子保健推進協議会

申込・問い合わせ 地域づくり協議会
☎ 083-922-3915

応募資格（要約）

・社会教育、生涯学習に寄与する団体で、地域に公開性、公共性がある活動を行う団体である」と。(企業活動、塾、お稽古教室などは利用不可)

・団体会員数が5人以上で、かつ3分の2以上が吉敷在住である」と。

・賞利目的の活動ではない」と。(企業活動、塾、お稽古教室などは利用不可)

・地域で開催される行事に積極的に協力できる」と。

申込書類 地域交流センターに設置

申込方法 所定の申込書に記入し、団体の構成員名簿等を添付のうえ、地域交流センターへ提出してください。

申込期間

とき 2月1日(木)～2月21日(水)

利用調整会議 各団体から必ず1名以上の出席をお願いします。

・とき 2月26日(月) 18時～

・場所 地域交流センター 講座室

問い合わせ 地域交流センター

☎ 083-922-3915

歳末助け合い募金のお礼

歳末助け合い募金にご協力をいただきありがとうございました。

申込締切 2月20日(火)
主催 地区社会福祉協議会・良城クラブ
申込 地区社会福祉協議会
☎ 083-922-3344

ちよるる広場

鴨南地域包括支援センター からのお知らせ

「通所介護」って
知っていますか？

「通所介護」は介護サービスの一つで、通常「デイサービス」と呼ばれます。

施設へ通い、食事の提供、入浴の介

助、脳活性トレーニングやレクリエーション、日常生活上の支援などのサービスがあり、要介護認定を持った方が利用できます。



可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、「利用者

の心身機能を維持する」とともに、家族の介護負担軽減なども目的としています。

すべての高齢者が利用できる
「一般介護予防事業」

介護予防出張講座やいきいき百歳体操等、心身の活力を維持し、元気に暮らしていただくための通いの場です。



あなたらしい生活を

取り戻しましょう！

介護予防には、

毎日の過ぎしが何よりも重要と言われています。



サービスを利用する場合にも適切な目標を持つたほうが、より介護予防の効果を得られます。

まずは現状を正しく把握し、今、

何が必要なのか専門職と一緒に考えてみませんか。何らかの理由で、一時的にフレイル（虚弱）状態になつたと気づいた時がチャンス！！

内容について詳しく知りたい方は、まずは地域包括支援センターへお気軽にご相談下さい。

○通所介護相当サービス

○体と脳の機能アップ教室

○短期集中通所型サービス

*山口市鴨南地域包括支援センター
電話 (083) 934-33333

みんなで防災

吉敷地区住民の防災意識について (令和5年アンケートまとめ)



吉敷地区防災会は、昨年の「吉敷ふるさとまつり」で「防災意識と備え」について、防災アンケート(成人対象)を実施、130人の方から回答を頂きました。以下アンケート集計結果をご紹介します。

1. あなたは、自然災害について家族で話合ったことがありますか？
はい(70%) いいえ(30%)

・災害について話し合う機会を持ち、家族で情報を共有します。
はい(58%) いいえ(42%)

5. 水漏れでスマートホンが故障した時、家族や知り合いと連絡を取れることがありますか？
はい(58%) いいえ(42%)
・家族や大切な人の電話番号はスマートホン登録以外に電話帳等に控えておきます。

6. あなたは、地震による家具の転倒防止や頭上からの落下物防止の対策をしていますか？
はい(38%) いいえ(62%)
・睡眠中地震が起きても大丈夫ですか？ 重い置物などがあるの頬の上に落ちて来ませんか、タンスがあなたの体の上に倒れて来ませんか。

7. あなたは、災害時のための備蓄(食料・飲料水)をしていますか？
はい(76%) いいえ(24%)
・大災害時には救援物資が届くまでに3日～7日かかります。それまで持ちこたえられる量を確保しておきましょう。

4. あなたは、大雨による洪水や土砂災害の危険性がある時、避難するタイミングを決めていますか？
はい(54%) いいえ(46%)

皆さんの災害への備えは如何ですか？
アンケートにて協力いただき有難うございました。



にぎやかに 「良城クラブまつり」開催

第三部では寸劇「一番の宝物は何でしょう？」

今年は鷹井会長のせひともという発案で寸劇をやることになりました。

近年、世間を騒がせた話題の人たちを中心に、自分の持っている宝物を自慢し合う寸劇。宝物と出演者は、「仲間の絆」齊藤昭司（上東）・「大判小判」小野光恵（佐烟）・「万太郎の植物大図鑑」石田孝志（佐烟）・「石川佳純のラケット」田中友子（上東）・「マイ、雑巾」竹田豊子（佐烟）・寅さんのカバン」中川洋二・紙谷孝子（上東）・「モンロードレス」原田美知子（上東）・「大谷翔平のバット」吉岡陽介（佐烟）・「孫」原田ヨシ子（中尾）・村岡愛子（佐烟）さんたちが演じました。

まず、観客の宝物の賞同者の数を寸時に数えるバードウォッチャー役の竹田充志・柳正昭さん（佐烟）二人の演技もびつたり息が合い、劇を盛り上げました。

また、総合司会役の安江美行さん（赤田）の巧妙なセリフなど、素人集団全員の渾身の演技は、観衆の皆さんに感銘を与え、大賛辞大拍手一杯に包まれました。

数々の宝物の中でも、一番の宝物は、素朴なお婆ちゃんと見学に来た「孫」に決定しました。古今東西いかなる立派な物質的な宝物より、「子どもが一番だ！」という定説は古来から不变ですね。



エンディング



余韻の冷めやらぬうちに祭りの最後の締めは、吉敷の名物バンド田中公吉・石田孝之（中村）さんのギター演奏を聞き、全員で「ふるさと」を歌つてのフィナーレとなりました。

（良城クラブ役員 松原政智）

踊りなどの披露

トップバッターの上利典子さん（木崎）の落語は玄人はだしで、巧みな所作や仕草は、いきなり会場の皆さんを爆笑の渦に包みました。

昨年に引き続き社交ダンスの横尾宏志さん（赤田）の会場いっぱいに流れ るように、女性を巧みにリードしながら踊る息の合った若々しい姿に今年も見惚れました。

第一部では「落語やダンス・

私達高齢者は、平素から、「仲間づく 一つにして楽しむことができました。

今年度は「ロナ柄も收回り、参加者も大幅に増え、130名の方々が心を

り、伸ばそう健康寿命、地域貢献」という三大目標を掲げて、地区民と絆を深めながら元気に活動しています。

昨年度に続いて、11月13日（月）、ニューメディアプラザで、良城クラブ（吉敷地区老人クラブ連合会）の最大の行事である「良城クラブまつり」を開催しました。地域づくり協議会の小田秀昭会長をはじめ、吉敷地区を支えておられる地域づくり関係団体の方のご臨席をいただき、祭りに花を添えていただきました。

今年度は「ロナ柄も收回り、参加者も大幅に増え、130名の方々が心を

り、伸ばそう健康寿命、地域貢献」という三大目標を掲げて、地区民と絆を深めながら元気に活動しています。

毎年、快く日舞を引き受けてくださいる前田絹江さん（佐烟）。この日、米寿を迎えたとは思えない美しい優雅な踊り。吉敷の名物です。

今年は会員も増えて、さらに賑やかに華やかに踊っていたら、音楽の音色が印象的でした。

第一部では「のどこの披露」

元気なシニアは声を出すのが一番です。そこで自慢のどを披露してもらいました。

まずは田鍋京子さん（赤田）。人気の詩吟・「富士山」を声量豊かに吟じ、会場の皆さんをうつとり魅了しました。

続いて各地から5人のど自慢の皆さんがカラオケを熱唱。観客席から掛け声や拍手喝采で盛り上がり最高。いずれ劣らぬ素晴らしいのど自慢の方々は、三好哲彦（佐烟）・栗田シズ子（中尾）・藏富律子（佐烟）・小田俊光（上東）・升田恵子（佐烟）・安永誠之（中尾）の皆さんでした。

休憩後、鴻南地域包括支援センターの青山尚子・大野舞さんによる「脳トレ」で、リフレッシュしました。

読者発

心地よい春

なんでも廣場

チをして帰った。これが文頭に記した「心地よい春」の訳である。

令和6年春 上東手伝い隊 齋藤

龍藏寺の冬桜(ばたん) 12月下旬、
2月末

上東の手伝い隊が発足して今年で7年目に入る。最近発足時に掲げた「隊の理念」に少し近付いた事柄があり、心地よい春が迎えられた。

平成30年、前民生委員の発案で困っている高齢者の手伝いをするにはどうすれば…と検討を重ねた。その方に出来る範囲で手助けをしていたぐくという指針を掲げた。

しかし人の心は微妙なもので、当該者の「近所の皆さんに迷惑をかけたくない」との思いが圧倒し、この指針は

挫折。では、どうする? という再検討

の結果、高齢隊員の立ち上げといふ

となり、今まで何とか頑張つてきたというのが経緯である。隊員の皆さんには嫌な顔ひとつせず力仕事、送迎、話し相手等、多方面に頑張つていただき、感謝の念に耐えない素晴らしいメンバーに恵まれたものである。

ある日、現民生委員の方から「高齢者の方のゴミ出しをお願いしたい」と依頼があり即対応検討に入つたときに、「手伝い隊に頼む前に、近所で対応することにした」と電話が入つた。私は早速民生委員宅を訪れ「グータツ



誰の心にもきれいな花がある

内田 信行(木崎)

市消防団まとい隊の晴れ姿



(元消防団員より)



よしきびと 吉敷人

山形 隆成 さん(20)

佐畠

この度無事に二十歳を迎えることができ、今まで温かく見守ってくださった吉敷地域の方々に感謝申し上げます。まだまだ青二才ではありますが、この節目をもって決意を新たに日々省察し励んで参りますので今後とも皆さまのお力添えいただきたく存じます。



No. 126

よしきびと 吉敷人

倉本 友菜 さん(20)

上東

18年間暮らした吉敷を離れてみて、登下校時の見守りや声かけなど、私達が吉敷の方々に支えられて成長できた事を改めて実感しています。支えてくださった地域に少しでも恩返しできるように、残りの大学生活も頑張ろうと思います。



No. 125



冬休みの宿題やつつけた！

12月25日(月)・26日(火)の両日、「YKB会(吉敷交流勉強会)」を開催しました。良城小学校児童の冬休みの宿題を、鴻南中学校の生徒や地域の方が親切に教え、児童も楽しみながら勉強できました。休憩時間には、紙芝居の読み聞かせを聞くことが出来ましたよ。



やさしいお味に癒される♪

1月7日(日)、食生活改善推進員の皆さんにより、「春の七草がゆ」が開催されました。当日はたくさんの方が訪れ、年末年始のごちそうで疲れた胃袋をいやし、1年間の無病息災を祈願しました。温かいお粥に癒されましたよ。



二十歳の晴れ舞台おめでとう

1月7日(日)、市民会館で、「二十歳のつどい」が開催されました。

今年は、約1,500名の新成人人が式典に参加し、久しぶりに会う恩師や友人と再会を喜んでいました。吉敷地域では、約150名が二十歳を迎えました。

おめでとうございます！



タスキをつなぎ力走！

1月14日(日)、阿知須きらら博記念公園で、「市駅伝競走大会」が開催されました。

吉敷からは2チームが参加。総距離14.7kmを5人のタスキでつなぎ、両チームとも完走することができました。区間賞に輝いたメンバーもいましたよ！



消防団激励会を開催しました

1月7日(日)地域交流センター講堂において、市消防団吉敷分団の日頃の地域活動に感謝し、吉敷消防後援会が激励会を開催しました。激励会前には、市消防出初式で表彰された方々の紹介と賞状の授与を行いました。受賞された皆さんおめでとうございます。

これからも地域住民が安心して暮らせる安全な地域のためにようしくお願ひします。

1月8日(月・祝)、好天に恵まれ良城小学校グラウンドで毎年恒例の「子ども会どんど焼き」を行いました。参加者はしめ縄飾りや書初めの練習の半紙などを持ち寄り、一年の無病息災等を祈願しました。

高く舞い上がった半紙の灰を皆で見上げていましたよ。

その後会場を交流センターに移し、小学生の子ども会議のメンバーが企画運営した「ピンゴ大会などが行われました。

どんど焼きで無病息災を祈願

吉敷地区社会福祉協議会は、このたび歳末たすけあい「地域のつながりを絶やさない事業」を実施しました。

民生委員児童委員協議会及び福祉員協議会の協力により、見守りが必要な85歳以上のひとり暮らし高齢者やふたり暮らし高齢世帯を訪問しました。話をしながら激励品(フリーズドライの味噌汁)をお渡しし、気ぜわしい年末年始にあたたかい見守り活動を行いました。

吉敷地区社会福祉協議会は、このたび歳末たすけあい「地域のつながりを絶やさない事業」を実施しました。民生委員児童委員協議会及び福祉員協議会の協力により、見守りが必要な85歳以上のひとり暮らし高齢者やふたり暮らし高齢世帯を訪問しました。話をしながら激励品(フリーズドライの味噌汁)をお渡しし、気ぜわしい年末年始にあたたかい見守り活動を行いました。

年末年始の見守り活動

吉敷地区社会福祉協議会は、このたび歳末たすけあい「地域のつながりを絶やさない事業」を実施しました。民生委員児童委員協議会及び福祉員協議会の協力により、見守りが必要な85歳以上のひとり暮らし高齢者やふたり暮らし高齢世帯を訪問しました。話をしながら激励品(フリーズドライの味噌汁)をお渡しし、気ぜわしい年末年始にあたたかい見守り活動を行いました。



木崎町内会で活動するふれあい・いきいきサロン「サロン木崎」をご紹介します。

「サロン木崎」

「サロン木崎」は、令和元年5月に設立しました。月1回の例会には、毎回10名前後、多いときは子どもからお年寄りまで30名近くが集まります。

茶話会や季節の行事で交流

毎回気ままな「茶話会」をベースに、夏には「かき氷・スイカ割り大会」、秋には「健康講話とゲーム大会」、正月(1月)には「白玉ぜんざいパーティ」などを開催しにぎやかに交流しています。

コロナ禍でも地道に活動を続け、規制が緩和された令和5年の春からは、「月見団子サロン」「体験!コミタクでお買い物ツアー」「年忘れ豚汁大会」など新しい企画にも挑戦しました。

ぜひご参加ください!

これから目標は開催日を増やすとともに、体験講座や講演、演芸など、「楽しみとうるおいのあるふれあいの場づくり」を目指したいと思っています。これまでたくさんの方にご参加いただくとともに、野菜やスイカ等材料の提供、調理や会場のお手伝い等、感謝に堪えません。

これからもみんなで盛り上げたいと思いますので、どんどんご参加ください。



【問い合わせ】

お世話人 津森(090-8720-1082)
上利(090-7127-7992)

リレー エッセイ

Relay Essay

044

はいかわ きどし 覚史さん

出身は美祢市秋芳町秋吉です。大学を卒業後、大阪で修業をして25歳で地元に帰ってきて現在52歳になりました。家族構成は妻、子供3人(26、22、21歳)ですが、今は妻、三男、母と4人で暮らしています。日々仕事に追われ、気づいたら大した趣味もなくこの年になってしまいましたが、地域の人との交流を大切にボランティア活動などに参加しています。また付き合い程度ですが、ゴルフを少しやっていますので、ぜひ一緒にさせていただけるときはお誘いください。地元は過疎化が進んでおり今後何ができるのか?どうやって地域と関わっていくのか?を課題として考えていきたいと思っています。

仕事は吉敷赤田地区に約30年前から地域のインフラとしての使命、快適なカーライフの提供することを念頭にガソリンスタンドを営んでいます。当時から吉

敷地域の皆様には大変お世話になっており、あたたかい言葉を掛けていただきたり、ご指導いただきたりで、なんとかここまでやってくることができました。良城商工振興会にも入会させていただき、吉敷地域の事業所の皆様と交流を持つこともできました。今年度、会長をさせていただいているが、今まで個人、会社を育てていただいた地域に感謝し、恩返しをしていきたいと思い活動しています。何か協力できるがあれば積極的に協力していきたいと思うので、ぜひ声をかけてください。今年も4月には軽井沢マルシェを開催します。吉敷地域の春のお祭りとして定着させていきたいと思うので、ご来場お待ちしています。



1 木	●市・県民税申告受付 9:30~14:00 ●町内会長会 18:30~
2 金	●人生100年時代の健康づくり講座～相続編～ 13:30~15:00 ●野菜をもっと食べなくなる楽しい食育講座 10:00~11:30
3 土	●人権学習推進大会 9:30~12:00 ●楽楽樂「誰でもどうぞの日」 9:30~12:00
4 日	●大内氏歴史講演会 10:00~12:00
5 月	●あいさつの日 ●広報委員会 17:00~
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 曜	
12 休	
13 火	
14 水	
15 木	●ふれあい型給食会
16 金	
17 土	●楽楽樂「誰でもどうぞの日」 9:30~12:00 ●すき!をさがそう えをかこう! 10:00~12:00 (P.2) ●えがお食堂よしき 11:30~

18 日	
19 月	●魚をさばいて海鮮丼を作ろう 10:00~12:00
20 火	
21 水	
22 木	
23 曜	
24 土	
25 日	
26 月	●古敷ペタンク同好会練習 9:00~ ●楽楽樂「誰でもどうぞの日」 10:00~15:00 ●地域交流センター定期利用調整会議 18:00~ (P.2)
27 火	
28 水	
29 木	

3月のおもなイベント

3 日	古敷ペタンク交流大会 (P.2)
4 月	あいさつの日
6 水	育児相談
9 土	第4回吉敷の近未来を想像し語る会 (P.2)
10 日	第2回YOSHIKIラッピングミュージアム「世界と話そうアマチュア無線」 (P.2)
13 水	子育て講座「子どもとメディアを考えよう—おきる、ねる、たべる—」 (P.2)



「私と『いきいき百歳体操』」「『いきいき百歳体操』って何ですか？」

いきいき百歳体操とは、高知市が開発した何歳になつても元気で楽しく生活するための体操だと言われています。高齢の方、そうでない方、どなたでも座つてできる体操です。おもりを使ってゆっくりする筋肉運動です。そんな百歳体操と出会って8年の付き合いになります。

吉敷上東公民館の「いきいき百歳体操」への参加が叶って、地域の元気な皆さんと「いちーにーさんーー」と一緒に声を出してDVDを見ながら体を動かしています。体操前と、体操後のおしゃべりも楽しくて、自然にお話の輪ができます。体力づくりと仲間づくりの場になっていると感じています。「継続は力なり！」です。

皆さん、元気な百歳を目指して、いきいき百歳体操を始めませんか！ できるとならいつまでも健康で自分らしく、住み慣れたこの地域で生活したいと思っています。

